

ソレイユニュースレター 発行日:令和3年10月15日 発行部数:1100部 発行人:石井 トシ子 編集製作:情報委員会
発行所:相模原市立男女共同参画推進センター 〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本 6-2-1(シティ・プラザはしもと内)



秋からの講座案内



	講座名	日時	定員	参加費
1	『人生100年』始めよう挑戦！～ゲーム・手品・エニアグラム・お話の世界～（全5回）	10月21日（木）～11月18日（木）の毎週木曜日 10：00～11：30	20名	無料
2	野菜で元気！もう一皿の野菜メニュー	11月20日（土） 10：00～12：00	10名	200円
3	パソコン操作実践活用講座 ～パワーポイントで簡単資料作成～（全2回）	12月2日（木）・9日（木） 10：00～11：30	10名	無料
4	お話お楽しみ会	12月4日（土） 10：00～12：00	12組	無料
5	LGBTs クローズドミーティング 対象：セクシャルマイノリティ及びその家族	12月11日（土） 13：00～15：00	10名	無料

※申込：ソレイユさがみ TEL：042-775-1775 FAX：042-775-1776

6	オンライン講座 仕事と介護の両立セミナー 相手に寄り添う認知症の方とのコミュニケーション法	12月18日（土） 14：00～15：30	20名	無料
---	--	--------------------------	-----	----

※申込：橋本地域包括支援センター TEL：042-773-5812 FAX：042-773-6330

*「情報コーナー企画展示 DV防止イベント『女性に対する暴力根絶のために』」
11月12日（金）～11月25日（木）

※これ以後も続々と講座があります。市の広報、ソレイユさがみ HP 等もご覧ください。
HP からも申し込みます。



お問い合わせは
ソレイユさがみまで
042-775-1775

インターンシップ実習生受け入れについて

10月の初月から桜美林大学グローバルコミュニケーション学群の学生がインターンシップ職場体験実習を行います。参加する学生は1年生から3年生までの8人で、学校では「ジェンダーとは何なのか」や「ジェンダーの歴史」などについて学び「一人ひとりが自分らしく生きることができる社会」を築くための勉強をしています。

当センターでの体験実習では「こども食堂」や「さんかくサロン」、「各委員会」に参加してもらいます。子どもたちがありのま

までいられる居場所をつくるための事業の「こども食堂」では調理を体験し、「さんかくサロン」では話し合いを通して多様な価値観に触れてもらいます。また、「各委員会」では男女共同参画事業の周知のための企画や運営方法についても一緒に考えてもらいます。

若い方たちが体験実習を通して理解を深めてもらうことで、近い将来居心地の良い社会が実現することを期待しています。
インターンシップ受入担当 澁谷 実

おしらせ

男女共同参画川柳 コンテスト 2021

来館者投票 11/2(火)～12/10(金)まで！

9月1日(水)～10月15日(金)まで募集していました男女共同参画川柳を、一次審査を経て、11月2日(火)～12月10日(金)まで来館者による投票を行ないます。3区ロビーでも同時開催します。

その投票結果と男女共同参画を推進している方々の最終審査により、グランプリ、準グランプリの入賞者を決定致します。皆様、ぜひ来館の折にはご覧いただき、お気に入りの川柳に投票をお願い致します!!



こちらは昨年の
グランプリ作品です。

新職員紹介

8月に相模原市立男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)次長として就任いたしました弦巻と申します。

「ソレイユさがみ」では、男女共同参画社会の実現に向け、様々な取り組みを行っておりますが、事務局におきまして、その活動のための拠点として一翼を担えるよう皆様方とともに目標に向かって邁進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

ソレイユさがみ 次長 弦巻 幸雄

ソレイユさがみに7月に入職し、心新たに新しい仕事に挑戦していますが、何もできない、わからないことに不安がいっぱいです。まずは環境に慣れることからゆっくりと進めていきたいと思っています。

当施設は、男女共同参画社会の実現を目的に活動しており、私もその一員としてまずは家庭から実現に向けて頑張りたいと思います。

ソレイユさがみ 事務員 澁谷 実

ソレイユさがみ登録団体 PR コーナー

どりーむ・あーと 代表 渡邊 康吉

皆さん、こんにちは。ソレイユさがみの登録団体になった、どりーむ・あーと です。私たちは、性別や年齢も違った、さまざまな障がいを持った仲間が等しくアートを楽しむ会です。社会や学校の生活で数えきれないストレスってありますよね。障がいを持った仲間たちは、困り感や不安感をかかえた生活があり、アート活動は大切な時間です。創作活動を行うことで心を開放し、毎日を元気にスタートできるよう活動しております。でも実は元気やパワーをもらっているのは私たちなんですけどね。

ヴィヴァント・スキークラブ 代表 澁谷 実

スキーを愛した先人が昭和44年に創部し、今年で52年になります。部員は約30名で準・正指導員は12名、小学校低学年から70代後半の方が在籍しています。女性も多く、性別や年齢に関係なく競技と基礎スキーを楽しんでいます。長野県や新潟県のスキー場でクラブ合宿を行い、他にも県スキー連盟や市スキー協会が主催する合宿や大会にも参加し、クラブ対抗スキー大会では26回の優勝経験があります。宿では雪を見ながらお酒を酌み交わし、親睦も盛んです。スキーが大好きな仲間と楽しい時間を過ごし、スキーを愛した先人の気持ちに浸っています。



編集後記

緊急事態宣言が解除となり、色づき始めた秋の景色に足が向く方も多いと思います。マスクの着用や三密を避けることは引き続き遵守し、ゆっくりと新しい日常を受け入れていけたらと思います。特にご家庭の中では皆が協力し合い、手の空いている人が家事を担うという習慣が定着してきたのではないのでしょうか。これこそ男女共同参画社会だと思います。(遠藤・加賀谷・永富)

